

令和6年度

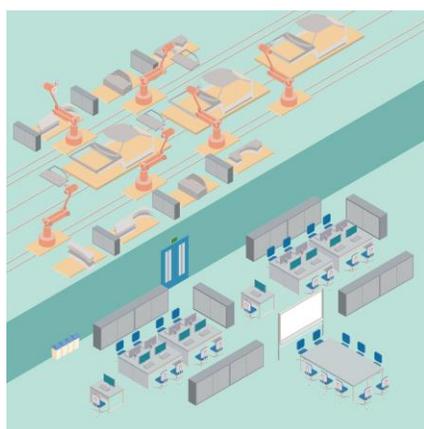
品質不正防止に向けた システム運用の盲点と対策の検討

「品質管理システムが繋がりにくく実態を理解してから
対応策を検討しよう」

2024 **11.20** 水曜日 13:00-17:30

こんな方にお勧め

- ・システムによる品質検査データの改ざん防止手法を知りたい方
- ・品質管理に関して内部統制に課題があると考えている方
- ・製造現場の品質管理業務を効率化したいと考えている方



申込締切日 10月18日(金)

受講料 11,000円(税込)

会場 KISTEC海老名本部

詳細・申込はHPをご覧ください



▼アクセス

〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉705-1

- ・小田急線、相鉄線、「海老名駅」より徒歩約18分
- ・JR相模線「海老名駅」より徒歩約15分

▼問合せ先

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

人材育成部 教育研修課 産業人材研修グループ

TEL:046-236-1500 e-mail:sm-hinkan@kistec.jp



品質不正防止に向けたシステム運用による問題解決策

近年、日本を代表する名門企業による品質不正問題が表面化しています。この問題の奥深くには経営層のマネジメント力や製造現場の組織能力など、数多くの問題が潜んでいる点が指摘されていますが、同時に、各企業において現在導入されている品質管理システムが、不正を防止する上で有効に機能していない状態であることも考えられます。こうした点はこれまで必ずしも詳細に議論されて来たとは言えず、この問題を考える上では、まずは工場内のシステム連携が容易ではない点について、その状況や理由を理解していなければなりません。本講義では、この議論からはじめ、品質管理業務の現状と問題点を分析した上で、どのような品質管理システム、ソフトウェアが求められているのかを具体的事例をもとに体験するとともに将来像を展望します。さらに受講者自身がグループワークの中で課題抽出を行うことにより、今後の業務への反映を目指します。

講師、システムデモ指導者

- ◆外山 明 氏 大阪経済大学 経営学部 経営学科 准教授
- ◆萩原 健太 氏 宇部情報システム株式会社 東日本営業部
- ◆下崎 康平 氏 宇部情報システム株式会社 ソリューション開発部

本講座で身につくこと

- ・品質管理現場の現状・課題理解と不正要因の特定
- ・不正防止、内部統制に必要となる品質管理システムの機能とシステム連携方法の理解
- ・品質管理業務を効率化するために実施すべきことの知識

講義予定

時間	内容
【講義】 13:00-14:30	・品質管理の現場とシステムの課題
	・品質不正発生の要因
	・品質管理システムによる対応策の検討
【品質管理システムデモ】 14:45-16:00	・講義で挙げた課題対応のシステムデモ; QC-One (宇部情報システム製)
【将来展望】 16:00-16:15	・今後日本の品質管理における課題について
【グループワーク】 16:15-17:30	・受講者の職場での課題抽出と対応案
	・発表